

教育カウンセラー沖縄

〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅2-3-1 なは市民協働プラザ2階201

代表：下地 敏洋

教育カウンセラー協会 夏期講座 終了しました！ ～受講者の感想～

今年度は3コマの夏期講座を開催しました。

会場の都合上、定員を30名とさせていただきましたが、予想を上回るお申し込みを頂き、お断りせざるを得なかった方もいらっしゃいました。しかし、当日参加されない方が2割以上いたため、せっかくお申し込みいただいた方々に大変申し訳ない思いでした。ご参加が難しくなった場合は、お早めにご連絡いただくと大変助かります。

当協会は、会員の皆様からの会費と講座の受講料によって運営されています。皆様のご理解とご協力に感謝いたします。

I. 「解決志向アプローチでペイフォワード(恩送り)」

長田清氏(長田クリニック院長・精神科医師)

8月10日(日) 於:ハーモニーセンター(浦添市)

【受講者の感想】

○エンパワメントという言葉が印象に残りました。教え込むのではなく、相手が自覚して自分で元気になるようサポートすることだと知り、自立してもらうためにも大切だと思いました。解決志向と問題思考は違うということです。悪い所にとらわれるのではなく、良い所に目を向けることが大事だと学び、自分の中で捉え方を変えていかなければいけない、と反省しました。

○問題は、問題を思う人にとって存在する。(相手)自らが気づけてこそエンパワメントになる。

○「どうなりたい」という言葉かけで未来に希望を持たせる関わり方にチャレンジしていこうと思いました。

感謝するのワークでお話ししながら自分の心があたたかくなっていくのを感じて幸せです。

○「恩送り」です。恩返しをしたいと思っていますが、「なかなか会いに行けなかったり、」もしかしたら相手はそこまで思っていないかも…とその時その時で恩返しが十分ではなかったのでは？と後悔していることがあります。

しかし、「恩送り」は今、身近な人にできることなので、取り組みやすいと思いました。

○不満があるのは感謝がないから…。自分が苦手な「和顔」でしたが、あきらめずに探したらできることもあった。0か100かではなく、少しでもできるところにフォーカスして、自分のこともエンパワメントしていきたい。

○「元気出せよ」には元気ないねといった否定的なものが含まれている。

自己否定心は、変化や変身したいという気持ちでもあるということ。よくなりたいたいの源動力になる。→自己否定の学生の中にある想いを見逃さないようにしたい。頑張ったことを、思い切り自慢させてあげたいと思いました。

○教師の仕事は問題解決に集中してしまうが、解決志向を目指すということに目を向ける。また、子どもたちの価値だけではなく自分自身の価値を気づく何かをしたい。アドバイスだけでなくエンパワメントを心がけた交わり方を自分なりに考えたい。

○問題を解決しようとしまいがちな今までだったが、「解決志向」と「問題解決」とは違うことを知り、「どうやって」という言葉…すてきな言葉を教えていただき感謝です。問題からその人を物語まで広げる、そんなことしたことないかもです。この年齢になって…。今日、その人の物語を「どうやって」という言葉を使いながら想像していこうと思うミラクルな講座です。来てよかったです。



Ⅱ. 「不登校生徒への支援のあり方について ー解決志向アプローチを中心とした関わりを通してー」

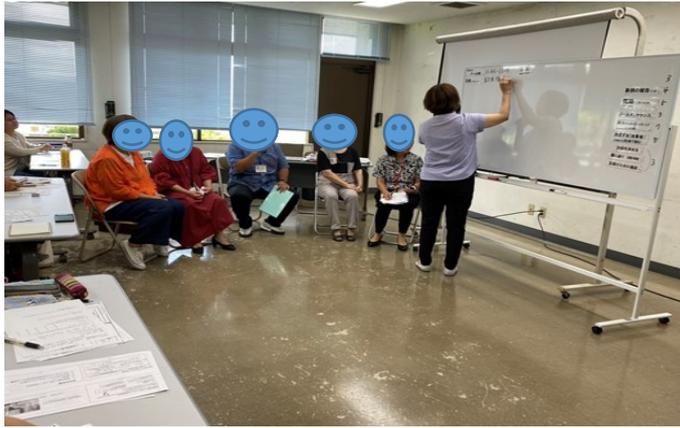
仲里直美氏(中学校教諭・上級教育カウンセラー・公認心理師)

8月14日(木)午前 於:ハーモニーセンター(浦添市)

【受講者の感想】

○解決志向アプローチの考え方は、本当に前向きで元気ができるなあと思いました。問題に目を向けると時間もかかるし、暗くなりがちですが、子どもいいところから解決策を見つける上手いと思いました。
ホワイトボードでできる解決志向のチーム会議では時間も手間もかからず、すぐ取り組みやすいと思いました。すぐに取り組みたいです。事例を踏まえた説明で、とてもわかりやすかったです。

○今までは、「問題解決アプローチ」でアプローチしていたと反省しました。ホワイトボードでできる解決志向のチーム会議をぜひ、2学期に実践してみたいです。



現代型の不登校の傾向を聞いて、本当にその通りだと思いました。現代に合ったアプローチの仕方がわかり、本当に気づかされてよかったです。2学期からの手立てを見直します。本日は、ラッキーな機会をいただけて本当によかったです。実際のやりとりなど、ライブで対応の仕方(尋ね方)を拝見できてとても貴重です。わかりやすく具体例をまじえながらの説明で現場での実践に活かそうです。本日は本当にありがとうございました。

○解決志向アプローチを活用した援助シートを活用することで、情報量が少ないケースで足踏み状態の、支援内容が決まらないケースでも、行える支援が見える化され、実践に繋がり、とてもよいシートだと思いました。「ホワイトボード」チーム会議は、他職種会議に活用できる流れでした。役割分担がしやすいと思いました。学業、生活、環境の情報が把握でき、現状、支援(方向性)が明確になり、分かりやすい。実践に繋がる内容でした。ありがとうございます。感謝。

○生徒の良い点に注目しながらアセスメントシートの記入をしたり、チーム会議をすることが印象に残りました。チーム会議の中で、ファシリテーターの質問で話の流れを修正したり、解決に向かって良い話し合いができるのだと気づきました。今後、ホワイトボードを使ってできるようになればいいと思います。

○解決志向アプローチを活用したチーム支援シートは、使いやすそうで、是非これから、活用して行きたいと思った。毎回、素晴らしい内容の講座を開いてくださり、ありがとうございます。会員がどんどん増えてほしいです。

○児童生徒のできているところ、やれているところに目を向けるということが、土台となり、支援方法へとつなげていくことが大切。普段の学年の会議が、問題解決アプローチになっていて、なかなか前進する支援へと結びつかないということに気づきました。

Ⅲ. 「いじめ対応のマネジメント」

城田由勝氏(元公立小学校校長・臨床心理士)

8月14日(木) 於:ハーモニーセンター(浦添市)

【受講者の感想】

○コーヒーカップモデルのロールプレイが印象に残っています。知識を知っているのと知らないのは、全く対応が違ってくると思いました。ロールプレイを繰り返したり、実践でリレーションを作る練習をしたいと思います。

○「コーヒーカップモデル」「AL'Sの法則」は初めて知りました。丁寧に子ども達や保護者とも関わっていくことが大切だと思いました。

○保護者対応のロールプレイをしたとき、聴いてもらうと、だんだん気持ちが落ち着き、子どものことをよろしく願いますという気持ちに変わる自分がありました。ロールプレイって大事ですね。

○コーヒーカップモデルのリレーション、大事なのは分かるが、自分には苦手なのが分かった。だからこそ意識して取り組みたい。

○メディエーターは仲裁するだけなので、本人たちの気持ちが安全な中で伝え合うことができるので、折り合いがつけやすい。

○コーヒーカップモデルとして対応していると思うが、改めて視覚的に確認できました。今一度、見直したいと思いました。電話や面談等で活かしたいです。

○コーヒーカップモデルを少しはやっているのかな?と思ったことです。それを自信としてがんばりたいと思いました。



実践発表交流会 13:30～16:00

於：ハーモニーセンター(浦添市)

長田清先生の講座に続いて、午後は会員の実践発表の場「実践発表交流会」が行われました。今回は3名の発表者が登壇し、日々の現場での工夫や挑戦について、熱意のこもった発表をしてくださいました。発表後のディスカッションも大変盛り上がり、下地敏洋代表と仲村将義顧問から温かい講評をいただきました。ここ数年、発表内容がますます充実していることに、運営側としても嬉しく感じています。教育カウンセリングの考え方や、子どもたちとのリレーションを築くことの大切さが、しっかりと根付いている証拠だと手応えを感じています。「教育カウンセラー」の資格更新にもつながるこの実践発表。年に一度の貴重なチャンスです。次はぜひ、あなたの実践をみんなに聞かせてください！

	タイトル	発表者名
1	1学期の学級づくりとQUを活用した児童理解	西平 咲子 (小学校)
2	不登校児童生徒への実践事例 ～保健室から教室へのアプローチ～	兼謝名 里美 (特別支援教育支援員)
3	特別支援教育	真喜屋 祥子 (特別支援コーディネーター)

総会 16:00～16:40

於：ハーモニーセンター(浦添市)

実践発表交流会後に開催されました本年度のNPO沖縄教育カウンセラー協会総会は、皆様のご協力により、無事に全ての議事を終えることができました。ご多忙の中ご参加くださった皆様、そしてご欠席されたものの、委任状をご提出くださった皆様に、心より感謝申し上げます。

また、今年度は役員改選の年でもあり、下記の3名の継続が承認されました。

- ・下地 敏洋 代表
- ・照屋 初美 副代表
- ・神保しげみ 副代表

皆様から寄せられるご意見やご協力が、本協会の活動を支える大きな力となります。役員一同、今後もさらなる協会の発展に向けて尽力してまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

長田先生、出版祝賀会に参加しました！



8月29日(金)にパシフィックホテルにて『ドクトルきよしの大ピンチ』の出版祝賀会が行われました。長田プレスリーによるバンド演奏あり、奥様や娘さんのフラダンスありの楽しい会でした。



理事の皆さんと

定例会

沖縄教育カウンセラー協会では、会員の皆さまを対象に、定例会を開催しております。

尚、諸般の事情で変更となる場合があります。どうぞ、日程や会場等詳細につきましては、事前に連絡先又は事務局までお問い合わせください。

今後、定例会への参加が資格取得につながられるよう、研修時間を証明することを検討しております(「ていんがあら」除く)。会員の皆様の学びのサポートができるよう努めてまいります。

構成的グループエンカウンター学習会「いろいろの会」

担当: 照屋初美 鈴木美奈子 仲村芳美

内容: 構成的グループエンカウターの理論と実践を学ぶ。学校で行うスペシフィックSGEの演習あり!

期日: 奇数月 第2土曜日 9:00~12:00 11/8・2026年 1/10

場所: 男女共同参画ハーモニーセンター(浦添市)

連絡先・問い合わせ: 照屋 初美 hatsumit0531@gmail.com

教育カウンセリング標準テキスト勉強会「ていんがあら」

担当: 濱川尚子 仲村芳美 仲里直美

内容: 標準テキストの学習。勉強会なので輪番でテキストのポイントについて説明し合います。

期日: 第4土曜に年間5回 10時~12時 11/22・2026年 1/24

(開始時間が10時半から10時に変更になりました)

場所: 男女共同参画ハーモニーセンター(浦添市) ※変更になる場合もあります

連絡先・問い合わせ: 仲里 直美(与那原中学校) メール naomi_nakazato@yahoo.co.jp

スクールカウンセラー勉強会

担当: 比嘉ゆか、宮城るり子、本成悦子、神保しげみ

内容: スクールカウンセラーとして活動している会員の学びあい。情報交換やグループスーパービジョンでお互いにサポートしています。

期日: 年3回程度(第1土曜日午前中: 10時~12時) 2025年 10/11・2026年 3/7

場所: 男女共同参画ハーモニーセンター(浦添市)

連絡先・問い合わせ: 事務局

編集後記

夏休みが終わり、子どもたちとの日々が再スタートして、早くも1ヶ月近く経とうとしていますね。運動会や宿泊学習など、様々な学校行事が予定されていることと思います。子どもたちの満開の笑顔のために、私たちも教育カウンセリングの視点を大切に、それぞれの持ち場で頑張っていきましょう。

神保

JECAO

特定非営利活動法人 沖縄教育カウンセラー協会

〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅2-3-1 なは市民協働プラザ2階201

電話 098-851-5257 F A X 098-851-5258

メールアドレス jim@jeca.okinawa (事務局) jecaokinawa@gmail.com (研修申込み)

ホームページ <https://jeca.okinawa/>